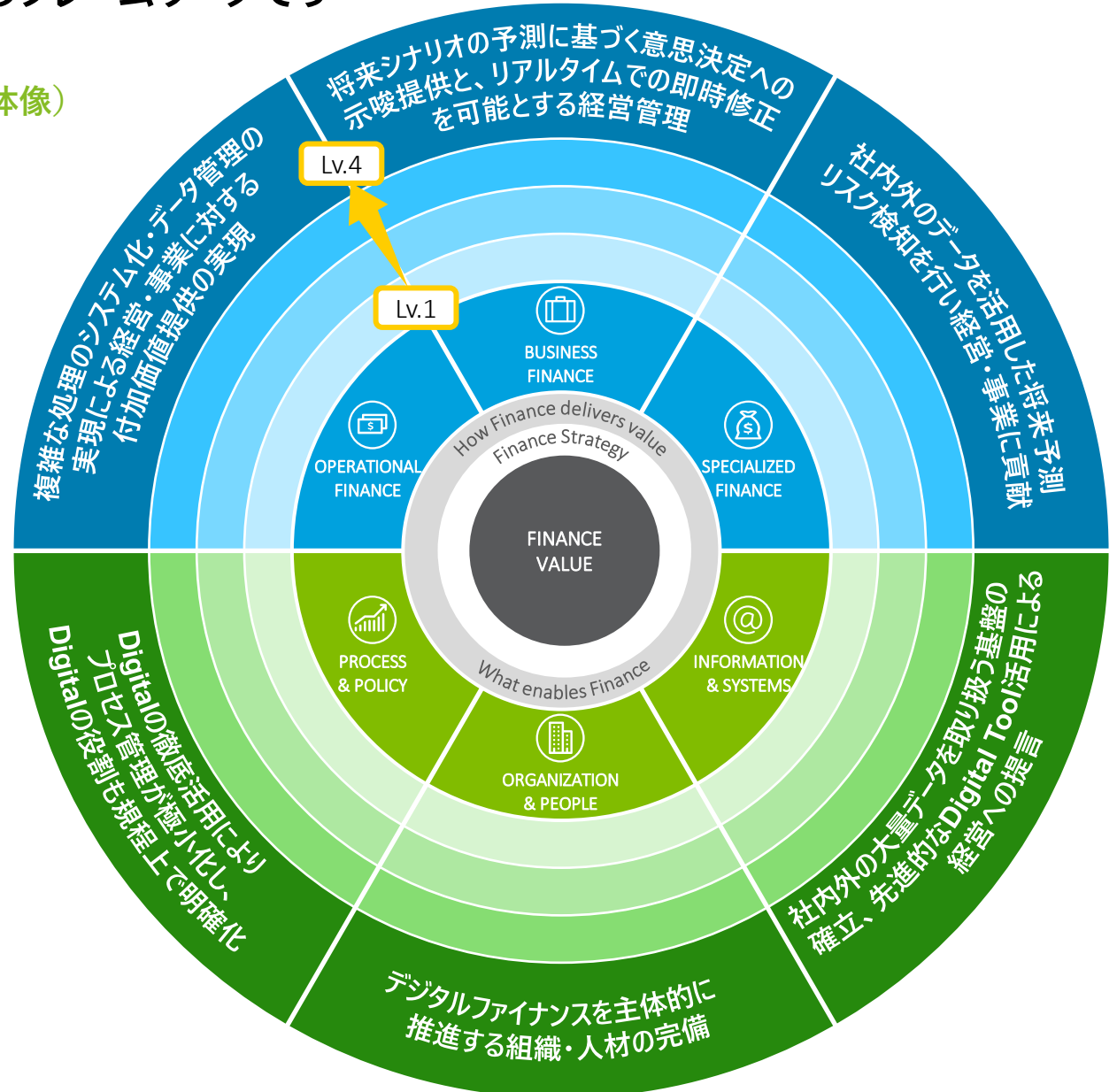


機能・仕組みの要素別にデジタル活用による変革の成熟度を整理しファイナンス組織を包括的に診断するのがDMATのフレームワークです

Finance Digital Maturity Assessment T (全体像)

Finance Digital Maturity Assessment T (DMAT)とは

- ✓ Digitalに特化した観点でFinanceの各領域の成熟度を整理したモデル
- ✓ 領域によって、Digital化の進展状況は様々であり、本モデルでの診断では他社とも比較し現在地を判断



Maturity Levelの定義

- Lv4 : Leading**
Digital Finance 3.0の世界観で、高度なDigital Financeが実現されている (殆どの企業が出来ていない)
- Lv3 : Advanced**
包括的にDigital化するもオペレーションが中心 (一部の先進的な企業では取り組まれている)
- Lv2 : Defined**
Digital化に着手するも限定的 (ERP導入等、多くの企業が動き出している)
- Lv1 : Developing**
FinanceのDigitalが殆ど進んでいない (一部の起用においてはレガシーFinanceが残存)